

指示標識や道路標識、交通信号機などを検知し、データに写り込んでいる被写体がそれぞれ何かを識別しています。特に物体検知では、90%以上の精度で交通信号機を認識する AI モデルを作成することができました。ただし、異なるカメラや撮影地域ではうまく認識できないといった課題もあり、精度をさらに高めるため、AI モデル作成における改善のポイントなどを思索している段階です。今後、「AIMINA」で作成した AI モデルにより、作業者の経験やスキルに依存しない調査測量が可能になり、工数削減に繋がる見込みです。

今後も SB C&S は、企業が抱えるさまざまな課題解決に貢献するため、誰でも手軽に AI を使うことができる「AIMINA」を通じて、業務効率化と生産性向上を目指す企業の DX 推進をサポートしていきます。

【「AIMINA」に関するお問い合わせ】

<https://aimina.com/contact/>

【「AIMINA」について】

「AIMINA」は、ビジネスの現場で AI を活用したい具体的なアイデアはあるものの、開発方法が分からない方が、お手元のデータで AI モデルの開発を試すことができる AI プラットフォームです。企業の DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進に向けた AI 活用促進においても、Python などのプログラミングが分からないビジネス現場の方々が無コードで AI の活用にチャレンジすることが可能です。詳細はこちら (<https://aimina.com/>) をご参照ください。

中日本航空株式会社 調査測量事業本部 技術開発プロジェクト マネージャー 千田 良道氏からのエピソード

AI という言葉を耳にするようになって何年か経ちますが、なかなか AI が身近になっていない印象を受けています。AI をいざ始めようと思い検討する段階で、わからないことや不足するリソースの多さに気がつきました。「AIMINA」は、誰でも AI を手軽に「学べる・作れる・試せる」がコンセプトのクラウドサービスで初心者でも始めやすいと思いました。まず、物体検知（判読）の AI 技術習得を目指し、そのための準備、AI モデルの作成、そして AI モデルを実際のソフトへ活用する流れを、経験しながら検討しているところです。「AIMINA」は、さまざまな AI モデルを対象にしていますので、現在トライアル中の物体検知以外にも、言語処理や異音検知、時系列の解析にも期待しています。今後、「AIMINA」の AI モデル作成技術や学習環境を活用し、さまざまな課題を解決できる技術者を育成できればと思っています。

中日本航空株式会社について

中日本航空は、飛行機・ヘリコプターの総合航空会社として、お客さまのニーズに最適なサービスをご提供します。ドクターヘリや国・県のヘリコプターの受託運航、物資輸送などの航空事業、航空写真撮影・リモートセンシング・航空レーザ計測など高度な調査測量やデータの解析を行う調査測量事業など、全国規模のネットワークで航空に関する事業を幅広くサポートします。詳細はこちら (<https://www.nnk.co.jp/>) をご参照ください。

SB C&S 経営理念・ビジョン

<https://cas.softbank.jp/corp/philosophy/>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、この取り組みに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。